

科目名	看護実践基盤学Ⅰ（看護学原論）			ナンバリング	PEB111	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	大堀昇	担当教員	久米美代子 鈴木祐子 他				

授業の概要	看護の対象である人間を、“こころ”と“からだ”を切り離すことのできない「心身一如」の存在としてとらえ、その尊厳ある対象者であることを常に意識した上で、看護学の全体を概観し、その基盤となっている看護の本質的な見方、考え方を学修する。看護学の歴史と展望、およびこれらに係わる看護理論の見地から、目的、本質を中心に看護の原理を理解する。また、看護の対象者である人間について被災によるものも含めた健康問題を有する人のゆらぎなども含めた観点から理解し、看護学における基礎的事項を学修する。						
到達目標	1. 看護学の主要概念（心身一如のとらえ方含む）、歴史的変遷、看護倫理について説明できる。 2. 次代を担う看護学生に課された課題について考察することができ、これからの看護学の展望を述べることができる。 3. 看護学の位置づけ、看護における制度・法令、看護職に必要とされる資質・責務について説明できる。 4. 看護と人間、環境、健康についてについて説明できる。 5. 看護における基本倫理および患者の心理と人権擁護、関係のなかの人間という概念および精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて説明できる。 6. 看護の対象としての社会的個人、個人と家族、地域社会、地域コミュニティ、被災者について説明できる。 7. 健康の概念、看護技術について説明できる。 8. 看護の提供システム、看護医療福祉システムおよびチーム医療について説明できる						
学習のアドバイス （勉強方法、履修に必要な予備知識など）	講義で使用するスライド資料は、manab@IMUからPDFファイルとしてダウンロードできる。 予習（資料の閲覧）と復習（レポート作成）を必ず行うこと。予習と復習それぞれおおそ90分の学習時間を確保すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
看護の対象である人間を、“こころ”と“からだ”を切り離すことのできない「心身一如」の存在としてとらえるとともに、看護学の全体を概観し、その基盤となっている看護の本質的な見方、考え方について説明できる。	看護学の基盤となっている看護の本質的な見方、考え方を述べるとともに、看護学の歴史と展望、およびこれらに係わる看護理論の見地から看護の原理について理解できる。また、看護の対象者である人間について健康問題を有する人のゆらぎなども含めた観点から説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験（中間・期末試験）	○	○					100%
小テスト・授業内レポート	○	○			○		
宿題・授業外レポート			○				加点はしないが減点することがある
授業態度・授業への参加			○	○	○		加点はしないが減点することがある

課題、評価のフィードバック	1. 授業の中で実施する課題演習に関する疑問や感想などについては次回の授業でコメントする。 2. 期末試験の評価を含めた最終的な成績に関する総評をmanab@IMUに掲載する。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	看護とは	看護とはどのようなことを指すのか、看護学とはどのような学問かについて	
	第2回	看護学の位置づけ①	看護学の位置づけについて	
	第3回	看護学の位置づけ②	看護における制度・法令について	
	第4回	看護学の歴史と展望	看護学の歴史的変遷について	
	第5回	看護学と主要概念①	看護と人間、環境の概念について①	
	第6回	看護学と主要概念②	看護と人間、環境の概念について②	
	第7回	人のこころの健康① :看護における基本倫理を踏まえて	看護における基本倫理および患者の心理と人権擁護について①	
	第8回	看護職に必要とされる資質・責務	看護職に必要とされる資質・責務について	
	第9回	人のこころの健康② :看護における基本倫理を踏まえて	看護における基本倫理および患者の心理と人権擁護について②	
	第10回	看護の対象理解① 被災者、個人と家族、地域社会／コミュニティ	看護の対象としての個人と家族、地域社会、地域コミュニティと被災者について①	
	第11回	看護の対象理解② 被災者、個人と家族、地域社会／コミュニティ	看護の対象としての個人と家族、地域社会、地域コミュニティと被災者について①	
	第12回	人と社会	関係の中の人間という概念および精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて	
	第13回	看護の対象理解③(被災者を含む)	看護における身体・精神・社会の側面からこころの健康について	
	第14回	看護実践と組織的活動について 保険医療福祉システムチーム医療	看護の提供システムと看護医療福祉システムおよびチーム医療について	
	第15回	看護倫理とこれからの看護学	看護倫理の基本とこれからの看護学のあり方について	
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。授業内容に関連する数回の課題演習を実施する。		
授業外学習の指示		予習はmanab@IMU掲載の資料およびテキストの指定箇所を熟読し、復習は授業内容を理解するためのノート整理と資料を熟読すること。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学(1) 看護学概論 第6版
参考書	授業の中で指示する
参考URLなど	授業の中で指示する
その他	